

水道会計はもうけ過ぎ！

・・・ 平野市議が、利益の還元を要求 ・・・

毎年、約 10 億円の「利益」！

【平成 24 年度決算】	
純利益	2 億 4,507 万円
減価償却費	6 億 9,220 万円
資産減耗費	4,749 万円
合計	9 億 8,476 万円

水道事業は、料金収入から経費を差し引いた「利益」を財源に、施設の改良や借金返済を行うという仕組みです。平成 24 年度決算では、「純利益」は 2 億 4,507 万円でしたが、「経費」で落とすものの現金支出はない「減価償却費」などが、事実上の「利益」として、次年度以降の施設改良などの「財源」となるのです。

上記のように、昨年度も約 10 億円の「財源」を確保しました。その結果、県下でもトップクラスの「裕福な経営」ができています。

毎年 9 月の議会では、前年度の水道事業会計の決算についての審議が行われます。日本共産党は「別府市はもうけ過ぎ」と批判してきました。平成 24 年度決算についても、同じ理由で反対しました。

以下、平野文活市議の質疑の中心点を報告します。

・・・ 平野市議の提案 ・・・

①基本料金の引き下げを！

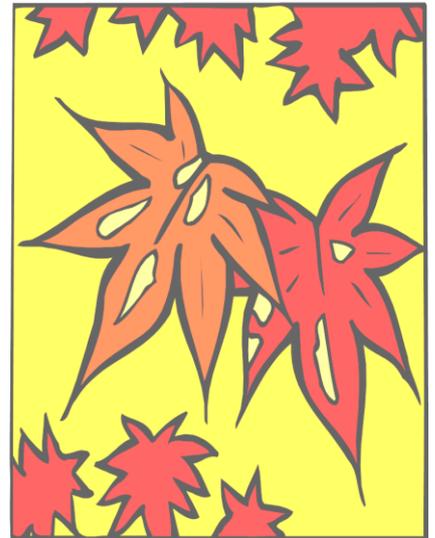
現在の基本料金は、月 8 トン以下で 970 円です。ところが 9 千世帯以上が 5 トン以下しか使っていません。基本料金を 5 トン以下にすべきです。

②福祉還付の対象拡大を！

重度障害者のいる世帯、65 歳以上の単身世帯では基本料金が半額になります。ところが、どんなに低所得でも 2 人世帯は利用できません。高齢者 2 人世帯も対象にすべきです。

③大口利用者の単価引き下げを！

別府市の水道を利用しないホテルなどが増えています。



日本共産党別府市議団

げんきニュース

市議会議員 平野文活 えんど久子

2013 年 10 月 3 日

NO, 574

水道事業の将来が危ない

・・・技術系職員 20代はゼロ・・・

右の表を見てください。今年3月時点の技術系職員数です。50歳代の職員が退職したあとは、どうなるのでしょうか。

平野市議は「技術の継承は一朝一夕にはいかない。このままでは将来が危ない」と警告しました。

別府市は扇状地で、温泉管もあり、地下水源も多い複雑な水系であり、事情に通じた技術系のベテラン職員がいなくなれば、災害にも対応できなくなります。

水道局には「企業性」とともに「公共性」が求められています。

	職員数（率）
20歳代	0人
30歳代	14人（29.2%）
40歳代	7人（14.6%）
50歳代	27人（56.2%）
合計	48人

（2013年3月31日現在）

暴力団が絡んだ不祥事

徹底調査を求める請願が提出

・・・賛同署名、14日まで追加で受け付けます・・・



請願書を提出する白石代表（9月25日）

「こみ行政に暴力団が絡んだ不祥事の真相解明を求める会」（白石昇会長）が結成され、9月25日に637筆の賛同署名を添えて、「広域議会に地方自治法百条にもとづく調査を求める請願」が提出されました。

10月15日に開かれる「広域議会（別府、日出、杵築の各議員で構成）」で審議、採決されます。

「会」では、前日の14日まで、追加の署名を受け付けています。ご協力をお願いいたします。